



AMBITIOUS #005
飯村小学校
小学校教諭

本音でぶつかる
関わりを!

紹介企業情報/飯村小学校

- 住所 豊橋市飯村南4-6-4
- URL www.imure-e.toyohashi.ed.jp/imure-e/
- 勤務時間 8:20-16:50
- 休日 土曜日、日曜日、祝日

アンビ
ジャスト

なるためには

- 必要資格 / 教員免許(小学校教諭)
- 主な進路 / 高校卒業→教職課程のある大学や短大に進学
→教員免許を取得→教員採用試験に合格→各小学校に配属

小学校教諭

——学生時代

「豊橋交響楽団などに所属し、オーケストラに熱中していました。オーケストラには幅広い年齢の方がいるので、コミュニケーションや礼儀の大切さを学ぶことができました。小学校教諭を志したのは、小学6年のときの担任の影響です。その先生は、いつでも一生懸命な人でした。大人なのに、子どもの自分たちと真剣に向き合ってくれるなんてすごいなあと思っていました」

大学時代のことを教えてください。

「教科指導法というカリキュラムがあり、国語や算数など様々な教科の指導方法を教わりました。4年次には、教育実習に行きました。1週目は指導教員の授業を見させていただき、2週目から補助として入れていただきました。どのように授業を進めるか指導教員に相談しながら授業案を考え、3週目は授業を行わせてもらいました。自分の考えていることを子どもたちに伝えることの難しさを実感しましたね。教員免許を取得後、教員採用試験に合格して飯村小学校で働き始めました」

——仕事について

「1年目は、仮採用期間になります。初任者研修があり、市内の施設や各学校の授業などを見学させてもらいました。一日の限られた時間の中で、なるべく子どもたちという時間を増やそうと思うと、授業の準備や教材を勉強する時間がなかなか取れません。最初は、仕事の時間配分を上手にするのが難しかったです」



仕事内容を簡単に教えてください。

「現在は、2年生を担当しています。子どもたちと本音でぶつかり、一緒に授業をつくっていく仕事。授業の準備や日々の授業など、とても多くの仕事があります。運動会や学芸会などの年間行事もあるし大変です。子どもとは、常に本音で話すよう心がけています。お互い人間なので、嫌なものは嫌だし、意見がぶつかるのは仕方ない。ちゃんとぶつかっていくことが大切だと思います」

地元への思いを教えてください。

「自分が育った場所に恩返しをしたいと思っています。地元で過ごした時間があって、いまの自分があると言っても過言ではありません。自分が上の世代から受けた恩を、地元の子どもたちに返していきたいです」

——やりがい

「子どもたちと触れ合う中で、表情が変わったときにやりがいを感じます。困った顔をしていたのに、ぱっと明るい顔になるようなことも。子どもの顔が輝いたときが、この仕事をしていてよかったと思う瞬間ですね」

——なるためには

「高校卒業後は、教職課程のある大学や短大に進学し、教員免許を取得することが第一歩です。その後、教員採用試験に合格すれば各小中学校に配属されます。小学校の先生になることを目標にするのではなく、先生になって子どもとこうい風に関わっていきたいという強い信念をもつことが大切だと思います。そういう信念があれば、自然と勉強も頑張れると思うし、くじけそうになったときの力になると思います」

お忙しいところ、ありがとうございます。

にし ざわ よし のり
西澤慶典さん

平成2年生まれ 帝京大学卒業

出身高校 豊橋西高等学校

- 12歳 小学校のときの先生に影響を受け、将来は小学校教諭を志す。
- 22歳 教育実習などの教職課程を修了し、教員免許を取得。教員採用試験に合格。
- 23歳 子どもの顔が輝く瞬間にやりがいを感じ、子どもと本音でぶつかる日々。

